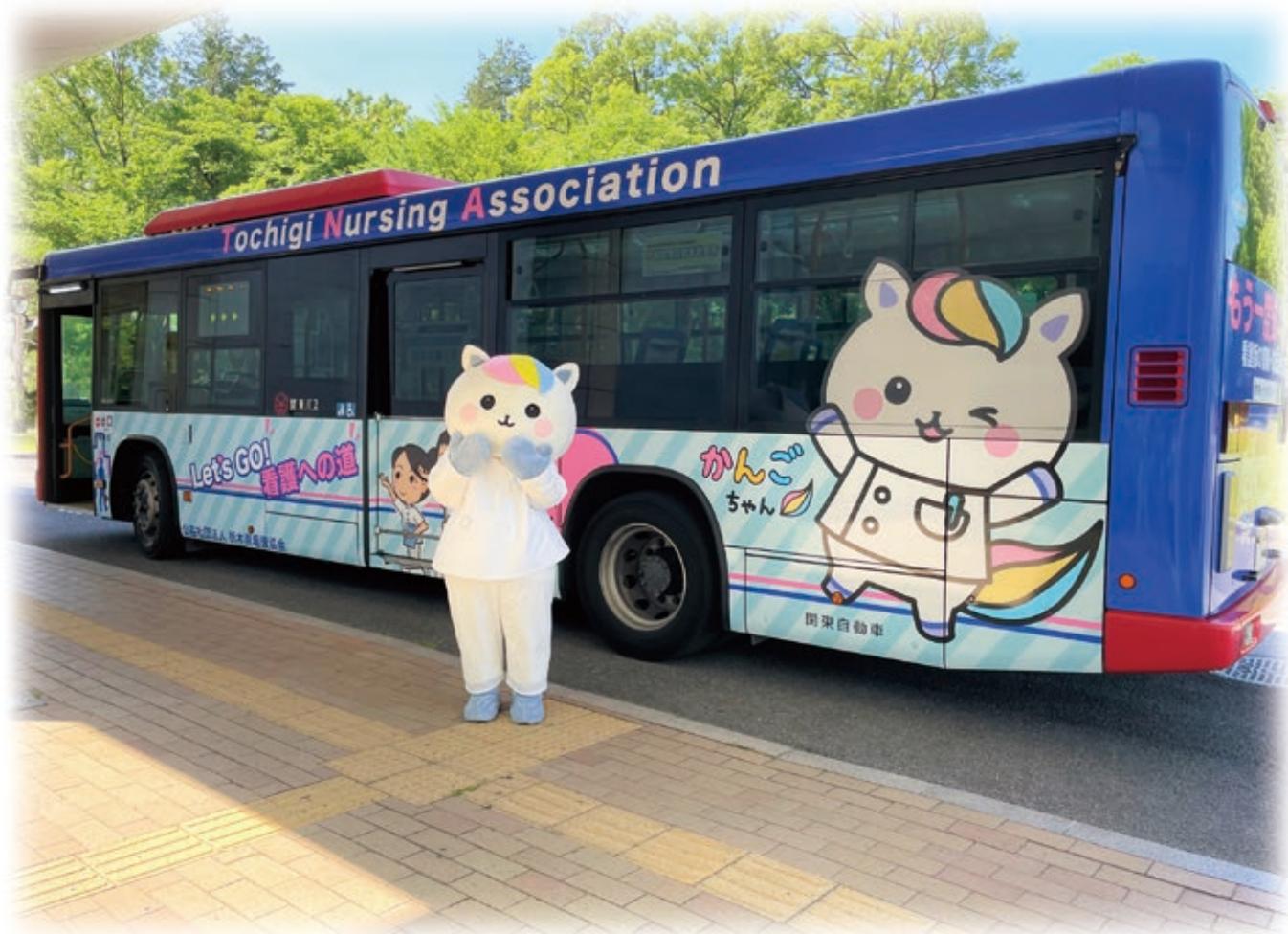




看護 とちぎ



かんごちゃんとラッピングバス

CONTENTS

- 2 2024 (令和6) 年度 公益社団法人栃木県看護協会通常総会
2024 (令和6) 年度 公益社団法人栃木県看護協会職能集会
2024 (令和6) 年度新役員紹介
- 3 看護フェス2024
- 4・5 第38回栃木県看護大会受賞者 ～私の信念～
- 6・7 2024 (令和6) 年度 公益社団法人栃木県看護協会 役員・委員名簿
- 8・9 特集 今年の各委員会事業計画
- 10・11 令和6年度特定行為研修修了者及び認定看護師等活動推進事業
- 12 医療安全対策推進委員会 セーフティシェアリング Vol.18
- 13 熱中症が増えています 予防のためのポイント
- 14・15 ナースセンター通信
- 16 日本看護協会長表彰・令和6年度栃木県訪問看護教育ステーション事業
広報担当委員交代・編集後記

生きるを、ともに、つくる。

公益社団法人 栃木県看護協会

会員数 11,603人 (R6.6.30現在)

2024(令和6)年度 公益社団法人栃木県看護協会通常総会



6月22日(土)とちぎ健康の森 講堂において、2024(令和6)年度 公益社団法人栃木県看護協会通常総会が開催されました。会員総数11,603名、理事役員20名、出席214名、委任状9,550名、合計9,784名で通常総会は成立しました。

栃木県看護協会通常総会の開催にあたり、朝野春美会長より今年度の重要課題が述べられ、

議事では議長団の円滑な進行により提出議題は全て可決・承認されました。議事終了後、新役員の紹介・旧役員への花束贈呈と謝辞が行われ閉会となりました。



2024(令和6)年度 公益社団法人栃木県看護協会職能集会



午前中には、職能集会が開催され、各職能委員会報告及び講演会が行われました。保健師職能では、講師にとちぎグッドメンタル&キャリア代表 坂寄和弘氏を迎え、「保健師のメンタルヘルス～いきいきと働き続けるために～」をテーマに30名の参加がありました。助産師職能



では、講師にそらまま～お空の子とパパとママの会～代表 三澤郁子氏を迎え、「そらまま～お空の子とパパとママの会～立ち上げまでの経緯」をテーマに21名の参加がありました。看護師職能では、講師に公益社団法人日本看護協会常任理事 木澤晃代氏を迎え、「令和6年度診療報酬改定をふまえた看護職の役割」をテーマに214名の参加がありました。どのテーマも興味深く、それぞれの分野で今後に活かせる内容でした。



2024(令和6)年度 理事会

新役員紹介



保健師職能理事

栃木県保健福祉部
保健福祉課

富田 倫子

保健師になってよかったと思える活動を、皆さんと一緒に考えられたらと思っています。よろしくお祈りします。

看護師職能理事

獨協医科大学病院

乾 寛美

看護師職能の役割を踏まえ、皆様のご指導をいただき責務を果たして参ります。どうぞ宜しくお願い致します。

理事

那須南病院

岡崎 京子

新任理事として皆様のご指導の下、看護職員の働き方や、魅力ある職場作りを目指して努力いたします。

理事

国際医療福祉大学
塩谷看護専門学校

平山 磯子

新理事として、誠実に責務を果たせるよう努めていきたいと思えます。

監事

栃木県立がんセンター

藤井 貴美子

役割である理事の職務執行、業務・財産の監査、必要時意見を果たせるよう務めます。よろしくお祈りします。

看護フェス 2024



5月25日（土）とちぎ健康の森多目的フロアにおいて『看護フェス2024』が開催され、41名の中・高校生が参加し、その中にはご家族で参加された方も数多くありました。

また、今年度も栃木県看護協会のラッピングバスの無料運行をいたしました。最初は緊張していた学生たちも、かんごちゃんのお出迎えで笑顔になり一緒に写真を撮影を行う姿が見られ、徐々に緊張がほぐれてきたようでした。高校生による『ふれあい看護体験』の発表では、看護師を目指すきっかけとなったエピソードや、患者から「ありがとう」と言われた時の看護の魅力、心肺蘇生の演習から看護の仕事や命についての理解を深めた内容が話されました。『進路相談』や『職業相談』、『先輩ナースに聞いてみよう』では目をキラキラさせながら進路や疑問など確認する姿が見られ、『看護体験』コーナーでは妊婦体験、片麻痺体験、高齢者疑似体験、車椅子操作体験が行われ、「大変」「上手いかない」など話しながらも真剣に取り組んでいました。また、聴診器を実際に使用し心音・呼吸音を確認したときは「聞こえる！」など感動する声も聞かれました。

参加者の学生達からは「一言で言うと、とにかく楽しかった」との声が多数聞かれ、盛況に終わりました。この一日を通して命をささえる仕事に近づき、関心を深めてもらえていたらとても嬉しく思います。



第38回栃木県看護大会 受賞者

所属施設は令和6年3月31日現在

～私の信念～

知事表彰 受賞者

獨協医科大学
日光医療センター
小倉 佳子

何事も感謝を忘れず前向きに、辛いことは一事が万事塞翁が馬、努力を惜しまず、患者の思いを受け支える。

那須中央病院
杉本 友子

看護師となり44年。大切にしてきたことは、相手に共感できる心を育てる。笑顔で接する。いつも前向きに考える事です。

足利赤十字病院
勅使河原由江

多くの人に支えられ今があることに感謝し、これからも看護の素晴らしさを継承していきたい。「継続は力なり」

栃木県助産師会
藤川 智子

今後も助産師として、自己研鑽を積み、臨床の場と地域の両側面から母子を守り育む仕事を続けていく所存です。



公益社団法人
栃木県看護協会
渡邊 芳江

「やらなかった後悔より、やって後悔する方がいい」を大切に、これからも前を向いて歩んでいきたいと思っています。

大会長表彰 受賞者



足利赤十字病院
相澤香代子

〇〇だからできないというのは簡単、どうすればいいのか。無理なら心の引き出しへ入れておく。

国際医療福祉大学
塩谷病院
印南 裕子

「探求心を忘れずに、その場、その時、その人にとっての最善を考えていきたいと思っています。」

国際医療福祉大学
塩谷病院
大塚 明子

支えてくれた皆さんへの感謝を忘れずに、誠実に相手の立場になって考え、行動するように心がけています。

自治医科大学附属病院
小畑美加子

物事は表裏一体です。短所に着目するのではなく、長所に着目し強みを強化する姿勢で対応することです。

日光市民病院
菊池 健蔵

経験は人生を豊かにし、看護師としても充実した日々を送る糧になると思っています。

訪問看護ステーション
星が丘
黒崎 雅子

私は日々「感謝をして取り組む」事を念頭に置いています。地域の多岐な仲間たちと今後も進み続けたいです。

小山市役所
栗原 洋子

傾聴を心がける事、そしてコミュニケーションをしっかりと図ることを大切にしています。

獨協医科大学病院
小山喜代美

人生でどんなことがあったとしても、それにはそれ相応の意味がある。

獨協医科大学
日光医療センター
鈴木佳世子

起きた事柄は偶然ではなく、必然と思ひ、人と人との繋がりに「誠意」をもつて、これからも対応いたします。

栃木県立衛生福祉大学
関 和子

「どんな出会いも必ず意味があり、未来につながり人間力の糧となる。出会いを大切に歩んでいきたいです。」

真岡病院
関屋美由紀

相手の気持ちに寄り添い、思いやりと感謝の気持ちを忘れず、何事も前向きに取り組むことです。

足利市役所
田口由紀子

「規矩作法 守り尽くして破るとも離るとても本(もと)を忘るな。」しなやかにたおやかにブレず…だもの。

宇都宮市役所
田崎 裕美

私の信念は「あきらめない」ということです。あきらめずに伴走支援を続けることで、問題を抱えた本人とも関係性が築けると信じて、保健師活動が続けたいと思います。

獨協医科大学病院
寺崎 順子

看護師最大の師は患者。「柳のように」と早年に贈られた深い言葉、人生いろいろ風をよむという学びに感謝。

真岡市役所
那花 真弓

多くの人に支えられて今の自分があることを忘れず、感謝の気持ちを常に持ち、自分らしく取組んでいきたい。

下野市役所
生井 明美

「人と人とのつながり」を大切にしてきました。これからも変わらず、大切にしていきたいと思っています。

上都賀総合病院
埜 晶子

相手の立場に立って考えることです。常に患者に寄り添える看護師でありたいと思っています。



自治医科大学附属病院
廣瀬 由美

相手の思いを真摯に受け止め、笑顔で関わることを心がけている。

自治医科大学附属病院
福田 順子

誰かのために、何かのために一生懸命働く。傍が楽になるためにハタラク。自分にできることで地域に恩返し。

足利赤十字病院
三田 典子

仕事において判断に迷った時は、『患者さんにとって良い方法は…』と考える自分軸を持っています。

栃木県立がんセンター
宮原 秋

「自分らしく」。患者さんも仲間も自分も唯一無二の存在。その人らしさを大切に看護すること。

栃木市役所
山市 由華

常に笑顔で「仕事は楽しく」をモットーに、これからも市民の健康づくりを目指していきたいと思っています。

済生会宇都宮病院
余川由紀子

臨床現場・教育現場、如何なる時も「対象者の最善とは何か」を常に考え、そして行動に移すことです。

宇都宮市役所
吉田 琴

市民一人ひとりが住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、自分のできることを精一杯頑張っていきます。

マロニエ医療福祉専門学校
持田 益身

母性看護の専門性の高い助産師を選び、病院・地域・学校と職場は変わりましたが、母子に関わってきました。お母さんの笑顔、赤ちゃんの元気な様子、学生の成長を見る喜びが継続の理由でしょうか。

感謝状 受賞者



芳賀赤十字病院
朝比奈幸子

困難な状況にあってもその人らしい生き方ができるように、寄り添い支援する存在でありたいと思います。

自治医科大学附属病院
稲川 敏江

「嫌なこと面倒なことは自分の実になるように取り組むと、次は得意なことになる」と思っています。

芳賀赤十字病院
印波小夜子

患者・家族に寄り添い、思いを傾聴し意思決定の支援をしていくことと考えています。

とちぎメディカルセンターとちぎ
江田美由紀

「患者ファースト」患者の代弁者となり、本人の思いに添った看護・支援が実践できるよう心掛けています。

佐野厚生総合病院
奥澤 典子

患者さんに関して少しでも気になったことは、そのままにせず再度確認をしています。

石橋総合病院
向後 栄子

「まごころ・感謝」の意識を大切にしながら、患者・家族・スタッフに接する事を日々心掛けています。

佐野厚生総合病院
小松原節子

人との出会いを大切に、「思いやりの心」を持って相手の心に寄り添うことを心がけています。

白澤病院
齋藤 明美

周りの方々に支えられこれまで続けられたことに感謝しています。患者さんが笑顔になれるよう援助していきたいです。

真岡病院
澤村 直子

私の信念は「誠意をもって人と接し、信頼される看護師になる」です。この信念のもとこれからも精進します。

栃木県立衛生福祉大学
篠川久美子

何事も前向きに考え笑顔で接する。常に周囲の人に支えられている事に感謝し、人との繋がりを大切にしています。

介護老人保健施設にしかた
篠崎真由美

艱難辛苦の道も、無私の心情と私欲を持たず最善の道を探して進む事で感動と喜びが訪れると信じています。

真岡病院
鈴木 清美

どんな事があっても、ユニフォームを着たら笑顔で明るく接することがポリシーです。

石橋総合病院
早乙女裕子

「周りの方々に支えられ続けてこられていることに感謝し、思いやりの心を持ち看護していきます。」

沼尾病院
田崎 歩美

患者優先で、患者のために行動できること。患者や家族から信頼され安心して任せてもらえる看護をすること。

新小山市市民病院
塚原里香子

看護師として「相手の立場に立って考える」ことを信念に、常に心がけ看護実践に取り組んでおります。

上都賀総合病院
福田 公子

笑顔を忘れず、患者、家族との出会いを大切に、今後も、一步一步あゆんでいきたいと思っています。

とちぎメディカルセンターとちぎ
船橋 浩美

多忙な仕事の中でも患者さんの声に耳を傾け、その中から少しでも気づけるよう心掛け、看護を行っています。

栃木県立がんセンター
牧島 恵子

～みんなと「共に」歩む～
これからも共にブラッシュアップ!

済生会宇都宮病院
益子あけみ

常に笑顔で患者さんに寄り添い穏やかに対応してきた。これからも元気になるサポートをしていきたい。

栃木県立がんセンター
松尾由理子

今後も健康増進・看護・介護など地域に密着した活動に貢献し、精進していきたいと思っています。

真岡病院
水沼美智子

私の信念は患者に寄り添う看護を行うことです。患者のサインに気づき対処できるよう尽力して参ります。

とちぎメディカルセンターしもつが
矢板沙来美

「公平性」を大切に、特定のひとだけが不利益をうけることがないように考えて、日々の対応をしています。



2024(令和6)年度 公益社団法人栃木県看護協会 役員・委員名簿

役員名

役職名	氏名	施設名
会長	朝野春美	公益社団法人栃木県看護協会
副会長	山口久美子	新潟総合学園新潟医療福祉大学
副会長	福原円	小山市役所
専務理事	五月女祐子	公益社団法人栃木県看護協会
常任理事	渡邊芳江	公益社団法人栃木県看護協会
保健師職能理事	富田倫子	栃木県保健福祉部 保健福祉課
助産師職能理事	田中純	自治医科大学附属病院
看護師職能理事	乾寛美	獨協医科大学病院
理事	勅使河原由江	足利赤十字病院
〃	福田裕美子	とちぎメディカルセンター総合保健医療支援センター
〃	三橋明美	芳賀赤十字病院
〃	井上文子	那須赤十字病院
〃	酒巻佐和子	宇都宮中央病院
〃	向田千津	佐野厚生総合病院
〃	井上和子	日光市民病院
〃	小林阿由美	済生会宇都宮病院
〃	青木千江美	新小山市市民病院
〃	岡崎京子	那須南病院
〃	平山磯子	国際医療福祉大学塩谷看護専門学校
〃	黒古敬子	真岡病院
監事	藤井貴美子	栃木県立がんセンター
〃	佐々木隆	税理士法人アミック&パートナーズびまわり事務所

	役職名	氏名	施設名
助産師職能委員会	委員長	田中純	自治医科大学附属病院
	委員	南雲佐苗	芳賀赤十字病院
	委員	増渕香代子	獨協医科大学病院
	委員	松本祥子	済生会宇都宮病院
	委員	田中和代	佐野厚生総合病院
	委員	竹内彩子	国際医療福祉大学病院
	委員	根本美帆子	那須赤十字病院
看護師職能委員会	委員	山市敏江	新小山市市民病院
	委員長	乾寛美	獨協医科大学病院
	委員	石崎礼子	芳賀赤十字病院
	委員	三田典子	足利赤十字病院
	委員	藤田みかる	とちぎ訪問看護ステーションおやま
	委員	石野浩史	介護老人保健施設にしるかた
	委員	岡本順子	済生会宇都宮病院
	委員	小畑美加子	自治医科大学附属病院
	委員	浦田朋美	栃木県立がんセンター
	委員	小森富美子	獨協医科大学病院
	委員	高松明美	国際医療福祉大学塩谷病院
	委員	大根田さゆり	老人保健施設わたのみ荘
	委員	木下明美	訪問看護あかり
	委員	高野昌子	那須北病院
	委員	上ノ内祐貴	佐野厚生総合病院

推薦委員会名

役職名	氏名	施設名
委員長	小山喜代美	獨協医科大学埼玉医療センター
委員	落合有美	壬生町役場
委員	八木沢幸恵	国際医療福祉大学病院
委員	加藤貴美子	自治医科大学附属病院
委員	高川真紀	済生会宇都宮病院
委員	板橋ナオミ	佐野厚生総合病院
委員	鈴木悦子	県南健康福祉センター

常任委員会名

	役職名	氏名	施設名
社会経済福祉委員会	担当理事	岡崎京子	那須南病院
	委員長	岸田さな江	獨協医科大学病院
	委員	阿武隈川寛子	済生会宇都宮病院
	委員	古澤由紀	足利赤十字病院
	委員	小松原千香子	とちぎメディカルセンターしもつが
	委員	沼尾ゆかり	獨協医科大学日光医療センター
	委員	星野麻衣	烏山健康福祉センター
教育委員会	担当理事	渡邊芳江	公益社団法人栃木県看護協会
	委員長	高岩和枝	とちぎメディカルセンターしもつが
	委員	高橋知怜	国際医療福祉大学病院
	委員	手塚理伊子	済生会宇都宮病院
	委員	玉村尚子	獨協医科大学看護学部
	委員	落合香織	新小山市市民病院
	委員	塙晶子	上都賀総合病院
	委員	福田恭子	獨協医科大学日光医療センター
	委員	新江菜苗	県南健康福祉センター
	委員	上野恵美	獨協医科大学病院
会	委員	川上美穂	西方病院
	委員	狐塚正子	自治医科大学附属病院
	委員	鈴木紗織	鹿沼市役所
	委員	真岡麻奈美	真岡病院

地区支部長名

地区名	氏名	施設名
宇都宮	小林阿由美	済生会宇都宮病院
県西	井上和子	日光市民病院
県東	三橋明美	芳賀赤十字病院
栃木	福田裕美子	とちぎメディカルセンターしもつが
小山	青木千江美	新小山市市民病院
北	井上文子	那須赤十字病院
安足	勅使河原由江	足利赤十字病院

職能委員会名

	役職名	氏名	施設名
保健師職能委員会	委員長	富田倫子	栃木県保健福祉部 保健福祉課
	委員	高橋由紀子	栃木産業保健総合支援センター
	委員	戸村美佳	日光市役所
	委員	齋藤雅美	県北健康福祉センター
	委員	新井香織	矢板健康福祉センター
	委員	深谷明子	宇都宮市役所(姿川地区市民センター)
	委員	若林知美	栃木県保健福祉部保健福祉課
	委員	鎌田玲子	真岡市役所
	委員	玉木志保	県東健康福祉センター
委員	生井明美	下野市役所	



	役職名	氏名	施設名
広報委員会	担当理事	山口久美子	新潟総合学園新潟医療福祉大学
	委員長	中田律子	新小山市民病院
	委員	橋口ユミ	済生会宇都宮病院
	委員	高橋真弓	獨協医科大学日光医療センター
	委員	長谷部明子	芳賀赤十字病院
	委員	渡辺義隆	栃木県立岡本台病院
	委員	野原恵	県西健康福祉センター
	委員	村井亜矢	とちぎメディカルセンターとちのき
災害看護委員会	担当理事	向田千津	佐野厚生総合病院
	委員長	飯田久子	自治医科大学附属病院
	委員	直井みつえ	済生会宇都宮病院
	委員	佐藤麻由美	独立行政法人国立病院機構栃木医療センター
	委員	舟木純子	足利赤十字病院
	委員	佐藤晃子	獨協医科大学病院
	委員	豊田豊子	那須赤十字病院
	委員	橋本明子	芳賀赤十字病院
医療安全対策推進委員会	担当理事	酒巻佐和子	宇都宮中央病院
	委員長	高久美子	自治医科大学附属病院
	委員	岡野真弓	上都賀総合病院
	委員	永山真弓	独立行政法人地域医療機能推進機構うつのみや病院
	委員	前原恵	足利赤十字病院
	委員	河野由江	獨協医科大学病院
	委員	柳田和子	済生会宇都宮病院

特別委員会名

	役職名	氏名	施設名
認定看護管理者教育運営委員会	担当理事	渡邊芳江	公益社団法人栃木県看護協会
	委員長	福田順子	自治医科大学附属病院
	委員	石田龍子	とちぎメディカルセンター法人本部
	委員	塚本友栄	自治医科大学看護学部
	委員	平澤靖子	済生会宇都宮病院
	委員	渡邊信代	那須赤十字病院
	委員	戸崎幸子	獨協医科大学病院
	専任教員	大竹信子	自宅
	専任教員	野本伊江子	公益社団法人栃木県看護協会
訪問看護教育委員会	担当理事	渡邊芳江	公益社団法人栃木県看護協会
	委員長	小堀千絵	西那須野マロニエ訪問看護ステーション
	委員	田崎綾乃	うつのみや訪問看護リハビリステーションにこっと
	委員	三柴友美	栃木県保健福祉部健康増進課難病対策担当
	委員	浅野有美子	獨協医科大学病院
	委員	栞原洋子	小山市役所
	委員	柴りか	LC訪問看護リハビリステーション
	委員	磯麻衣	とちぎ訪問看護ステーションくろばね

	役職名	氏名	施設名
実習指導者講習会委員会	担当理事	平山磯子	国際医療福祉大学塩谷看護専門学校
	委員長	豊田早苗	獨協医科大学病院
	委員	印南裕子	国際医療福祉大学塩谷病院
	委員	仁平英恵	芳賀赤十字病院
	委員	芳賀篤子	栃木県立衛生福祉大学校
	委員	大澤弘子	自治医科大学附属病院
	委員長	福原円	小山市役所
	委員	朝野春美	公益社団法人栃木県看護協会
看護大会準備委員会	委員	山口久美子	新潟総合学園新潟医療福祉大学
	委員	五月女祐子	公益社団法人栃木県看護協会
	委員	渡邊芳江	公益社団法人栃木県看護協会
	委員	富田倫子	栃木県保健福祉部 保健福祉課
	委員	田中純	自治医科大学附属病院
	委員	乾寛美	獨協医科大学病院
	委員	鈴木太	日精看栃木県支部(自宅)
	委員	浅川まり子	栃木県助産師会(きうち産婦人科)
	委員	金子美和	今市病院
	委員	白石大	栃木県立岡本台病院
	委員	吉澤由美子	佐野市民病院
新人看護職員応援研修委員会	担当理事	渡邊芳江	公益社団法人栃木県看護協会
	委員長	佐藤由貴	菅間記念病院
	委員	安西典子	自治医科大学附属病院
	委員	前澤信子	芳賀赤十字病院
	委員	高橋りか	藤井脳神経外科病院
	委員	落合紀代美	とちぎメディカルセンターしもつが
栃木県看護学会企画委員会	委員	館野雅子	佐野厚生総合病院
	担当理事	渡邊芳江	公益社団法人栃木県看護協会
	委員長	森川純子	獨協医科大学F・S・Dセンター
	委員	反保広美	済生会宇都宮病院
	委員	大貫紀子	自治医科大学附属病院
	委員	上田理恵	獨協医科大学看護学部
栃木県看護学会準備委員会	委員	角川志穂	自治医科大学看護学部
	委員	永澤恭子	栃木県立衛生福祉大学校
	委員長	井戸沼由美子	那須赤十字病院
	委員	境敏一	報徳看護専門学校
	委員	藤嶋淳子	済生会宇都宮病院
	委員	山崎猛	上都賀総合病院
	委員	田熊明子	新小山市民病院
	委員	山口英子	足利赤十字病院
委員	飯塚順子	とちぎメディカルセンターしもつが	

特集 今年の各委員会事業計画

職能委員会活動計画

保健師職能委員会

保健師職能委員長 富田 倫子

保健師が役割を発揮できるために

少子高齢化が進む中、療養の場は地域に移行する制度改正等が行われ、療養と生活を支援する保健師の役割や業務は増加しています。また、相次ぐ健康危機、地域コミュニティーの脆弱化などの課題も相まって、保健師活動の必要性が高まっていると感じています。

保健師職能委員会では、行政や産業で働く保健師がそれぞれの立場で抱えている課題を共有し、果たすべき役割を改めて整理し、そのために何が必要かを検討していきます。

併せて人材の確保、育成という共通の課題解決のため、ニュースレターによる情報発信、保健指導力を高める研修会の開催等も引き続き行いたいと思います。特に研修会では、保健師に求められる保健指導力を効果的に高めることができる内容となっていますので、多くの方に参加していただくと嬉しいです。今年度も委員会活動が少しでも充実するよう、忌憚のないご意見をお寄せください。

助産師職能委員会

助産師職能委員長 田中 純

助産師の活躍推進と連携

助産師職能委員会では、日本看護協会の方針である、助産師の活躍推進と助産師の多様で柔軟な働き方に関して情報収集をおこないます。関連団体・自治体と連携をとり、地域で働く助産師と意見交換し、「母子のための地域包括ケア病棟」をどのように推進していったらよいかを考えていきます。助産師の多様な働き方についても意見交換していきます。

研修会では、周産期に関わる職場で仕事をしている助産師・看護師が交流を深められ、看護実践力を高められる内容を企画しています。また、院内助産・助産師外来・産後ケア・産科区域特定について実践報告も企画しています。多くの方の参加をお待ちしております。

看護協会のホームページに助産師だより「ミッドワイフトーク」「助産師のつぶやき」を掲載しておりますので、そちらも是非ご覧ください。

看護師職能委員会

看護師職能委員長 乾 寛美

少子高齢社会における看護師の質向上と役割発揮にむけて

看護師職能委員会では、2040年問題を見据えながら、令和6年度の診療報酬・介護報酬の改定をふまえて少子高齢社会における看護師の質向上と役割発揮のための研修を企画します。看護師職能Ⅰ病院領域では、特定行為研修修了者の活躍推進にむけて情報提供や課題についてお話しいただきグループワークによる情報共有を企画します。看護師職能Ⅱ在宅領域では、高齢者における看取りに向けての体制強化にむけて施設・在宅における高齢者の看取りの現状について講義していただき、グループワークを行います。そして、領域ⅠとⅡ合同では、地域包括ケアシステムにおける看護師の活動について診療報酬からみえる地域連携強化の講義からグループワークで意見交換を行い課題抽出していくことを予定しています。

研修会や講演会を情報収集・意見交換の場としてご活用していただきたいと思います。

常任委員会活動計画

社会経済福祉委員会

社会経済福祉委員長 岸田 さな江

～いきいきと働き続けるための職場環境づくりと看護協会会員拡大～

社会経済福祉委員会は、看護師の労働環境条件の充実・向上と看護協会会員拡大の活動をしています。国民の看護職へのニーズが増大する中、働き続けられる環境づくりは必須です。今年度も2つの研修を企画しました。「魅力ある職場づくりを！～いきいきと働き続けるために～」は、看護職がいきいきと働き続けるため、働く個人と組織が共に成長し合える状態を創りあげるベストマッチな関係づくりについて考えることを目的にした研修です。「就業継続が可能な働き方の提案」は、個人の多様性を認め合い、看護職個人の持続可能な働き方の実現を推進するため、就業継続が可能な労働環境作りを目的とした研修です。一緒に魅力ある看護、職場環境を構築していきましょう。

令和6年3月31日現在の会員数は12,426名です。会員定着と拡大に向け協会の役割や会員特典のPRにも取り組んでまいります。皆さまのご参画に感謝し、引き続きよろしく願いいたします。



教育委員会

教育委員長 高橋 知怜

看護職の専門職業人としての「まなび」を支援する

教育委員会は、保健・医療・福祉におけるニーズの多様化・複雑化に対応するため、看護実践能力の向上を目指し、研修の企画・運営をしています。あらゆる職場で働く看護職の「まなび」を支援するため、研修計画には看護実践能力習熟段階「新人～レベルⅣ」と臨床実践能力「意思決定を支援する力・ニーズをとらえる力・協働する力・ケアする力」を表示し、自身に必要な研修を選択できるようにしています。また、関心の高い研修に関しては、研修日を増やしたり、オンライン研修を設け、遠方の方も参加しやすいよう対応したりしております。

社会情勢やニーズに対応した研修企画を行うとともに、看護職皆様の「学びたい研修」「看護実践において必要な研修」など、ご要望に応えられるよう研修企画・運営を行ってまいりますので、ご意見、ご要望をお寄せいただけると幸いです。

広報委員会

広報委員長 中田 律子

より多くの方に読んでいただける広報誌を目指して

広報委員会の主な活動は、年4回の「看護とちぎ」発行にあたり、企画・校正・取材・編集を行っています。内容としては、栃木県看護大会・栃木県看護協会通常総会の様子、研修報告、各委員会活動報告、ナースセンター通信、優待特典といったお得情報も掲載しています。冊子だけでなく栃木県看護協会のホームページからもご覧いただけます。

今後の活動としては、ホームページの閲覧数増加に向けて、良質なコンテンツの作成や使いやすさの向上などに取り組んでいきたいと思っています。

引き続き、「私の○○自慢」を募集しています。推し活、料理、ペットなんでもOKです。皆様からのご応募をお待ちしています。

災害看護委員会

災害看護委員長 飯田 久子

災害支援ナースの養成と支援体制の充実を目指して

令和6年4月に改正医療法・改正感染症法が施行され、災害支援ナースの仕組みが大きく変更となりました。主な変更点は、災害支援ナースの養成や登録が国の事業となり、自然災害に加え新興感染症も対象となる、派遣元からの業務扱いとなる、経費が公的負担となるなどです。

災害看護委員会では、昨年度から、感染症支援に関する項目を含めた新たなカリキュラムで「災害支援ナース養成研修」を開始いたしました。今年度は、より多くの方に研修を受講していただけるように2回の開催を予定しております。また、災害支援ナースが派遣に際し、安心して活動ができるように活動備品の整備や支援体制などについても充実させていきます。さらに、県の防災訓練に参加し、多職種との連携強化に努めていきたいと思っています。

医療安全対策推進委員会

医療安全対策推進委員長 高久 美子

医療安全に関する学びを深め、そして臨床現場で活かそう

医療安全対策推進委員会は、各施設における医療安全活動の普及と支援を目的とした委員会です。今年度は対応に悩む患者や家族への対応方法について「医療・在宅現場での患者・家族による暴力・ハラスメントへの対応」、医療安全の基本となる「みんなで取り組む新5S活動のすすめ」、身近な環境で医療事故に遭遇したらを考える「医療安全キャンペーン～医療事故の経験 その語りから学ぶ～」、臨床の中での多くのジレンマに対して「医療安全と臨床倫理・対話推進～もうそのままにしない 臨床のモヤモヤ～」をテーマとした研修を、それぞれの専門分野の講師を迎えて充実した研修を企画しています。ぜひ、多くの方をお誘いいただき、研修に参加していただき、医療安全に関する情報・活動・問題等の共有や意見交換を行ってください。さらに、その学び深め、臨床の現場でさらによりよい医療安全をめざし、活躍していただきたいと思っています。

令和6年度 特定行為研修修了者及び認定看護師等活動推進事業

本事業の目的

- ・キャリアアップを目指す看護師に役割や活動の実際を伝え、特定行為研修修了者及び認定看護師等の養成を積極的に進めていく。
- ・特定行為研修修了者及び認定看護師等が院内だけでなく、地域へ活動の場を広げ栃木県の看護の質向上を図る。

研修事業

- ・看護管理者向け普及啓発研修
- ・中堅看護師等向け普及啓発事業
- ・情報交換会

派遣事業

- ・認定看護師等派遣事業



派遣事業

認定看護師等派遣希望施設募集

栃木県看護協会では、今年度から「認定看護師等派遣事業」を実施します。**院内研修や勉強会、看護実践の指導、困難事例の相談等**、各施設のニーズや実情に合わせて、認定看護師等を派遣いたします。

お気軽にお申し込みください。



こんなとき



- ◆ 日頃の褥瘡ケアやストーマケアについて相談したい。
- ◆ 感染症対策のマニュアルへのアドバイスがほしい。
- ◆ 認知症の人の身体拘束に関する勉強会を開きたい。

実施期間：令和6年9月～令和7年2月

対象：派遣希望施設 30件程度（原則、病院が対象）

派遣内容：勉強会の講師、実践の指導、困難事例の相談等（最長2時間まで）

申込期限：希望派遣日該当月の2ヶ月前まで

申込方法：所定の派遣依頼用紙（申込書）をご記入の上、当協会までメールまたはFAXのいずれかの方法でお申し込みください。

費用：無料（認定看護師等の謝金及び旅費は栃木県看護協会が負担）

お問合せ先 公益社団法人栃木県看護協会
〒320-8503 宇都宮市駒生町3337-1 とちぎ健康の森4階
電話 028-625-6141 FAX 028-625-8988



活動紹介 ～訪問看護ステーション編～

特定行為研修修了者

とちぎ訪問看護ステーションあしかが 倉持満由美/呼吸器（長期呼吸療法）関連・ろう孔関連



・胃瘻交換の日もいつも通りの生活でいいね。待ち時間もないし、とても楽になったよ（高齢介護者）カニューレ交換は心配だけど看護師さんがいてくれるから安心（母親）
 ・自宅療養での不安や負担を少しでも軽減できるようこれからも自己研鑽していきます。また、ステーションでは修了生が働きかけ、統一した観察・ケアができるようになり異常の早期発見にも繋がっています。

とちぎ訪問看護ステーションうつのみや 永井信子/創傷管理関連・呼吸器(長期呼吸療法)関連・ろう孔関連



看護の仕事を始め18年経過したころ、上司より特定行為研修を勧められ受講しました。仕事と研修の両立は大変でしたが、漫然と仕事をしていた自分にとって「患者の役に立ちたい」と全国から集まった研修生との学びは自分にとっての財産です。看護師として大切な予防・管理面に力を入れ、事務所全体のレベルアップが図れるよう精進していきたいと思えます。

とちぎ訪問看護ステーションみぶ 下川陽美/在宅・慢性期領域パッケージ



特定行為研修修了後、1年目は地域の医師、他職種への周知活動を実践してきました。2年目にやっと訪問看護の現場で実際に手順書に沿って褥瘡の壊死組織の除去の特定行為を実施することができました。今年度は継続して周知活動をしながら、フォローアップ研修、学会などに参加し、自己研鑽に努め、事業所スタッフにフィードバックし、利用者様に有益なケアを実施できるように日々励んで参りたいと考えております。

とちぎ訪問看護ステーションおやま 白石弘枝/在宅・慢性期領域パッケージ



2年前に自治医科大学看護師特定行為研修を修了し、現在は4か所の病院・クリニックから手順書を交わして訪問看護での特定行為を行っています。訪問看護は利用者それぞれ主治医が異なるため、日々の業務の合間を縫ってそれぞれの医師と情報共有や交渉を行う必要がありますが、チーム医療や多職種協働が求められる在宅においては必要不可欠な役割だと感じています。今後も特定行為研修での学びを活かして活動していきたいです。

認定看護師

とちぎ訪問看護ステーションおやま 渡邊佳代/緩和ケア認定看護師



地域で暮らす方々が在宅でその人らしい生活ができるように支援しています。特にがん疾患では、様々な身体的苦痛症状があるため症状のアセスメントと症状緩和の看護を行っています。また、利用者と家族の日常生活の質が維持されるように他職種と連携をはかり質の高い在宅医療の実践を通して、人生の最終段階を支援しています。

とちぎ訪問看護ステーションあしかが 川島麻美子/緩和ケア認定看護師



初めは病院でのがん看護に興味とやりがいを感じ、緩和ケア認定看護師の資格を取得しました。それから10年経ち、現在は疾患の区別なく、症状緩和や看取りの支援を中心に訪問看護を行っています。今後も自身の専門性を活かしつつ、ステーションの仲間や多職種の方々と協力し、利用者さんにご家族が笑顔で暮らせるお手伝いをしていきたいと思えます。

とちぎ訪問看護ステーションあしかが 芦谷知子/緩和ケア認定看護師



ホスピスケアに興味を持ち、ホスピス緩和ケア病棟に在籍しながら、緩和ケア認定看護師を取得しました。その後も緩和ケア病棟で患者様と関わりながら「痛みがなく過ごせるなら、家に帰りたい」という言葉を耳にして、在宅療養の場で、少しでも利用者様やご家族の支援ができればと、訪問看護に転職しました。訪問看護を楽しみながら、現在では、少しずつ在宅での緩和ケアが広がってきていると実感しています。

詳しくはホームページへ

<医療安全対策推進委員会 セーフティシェアリング>

Vol.18

令和6年度 医療安全研修実施報告

令和6年7月13日(土)

関西医科大学看護学部看護学研究科教授 三木明子先生をお呼びして、「暴言・暴力・ハラスメント対応」の研修を行いました。病院・施設から71名の参加がありました。



研修の中でお互いにハラスメント事例を経験して、対応を学びました。

ハラスメント関連のサイト紹介

裁判例を見てみよう／あかるい職場応援団 - 職場のハラスメント(パワハラ、セクハラ、マタハラ)の予防・解決に向けたポータルサイト-(mhlw.go.jp)

訪問系暴力対策マニュアル

在宅ケア向け暴力等対策マニュアル／在宅ケアを受ける患者・家族からの暴力・ハラスメント防止方策の構築(miki-kmu.com)

現場で取り組んでいこう!ハラスメント

言い方ひとつで変わる会話

新人の見学中に現場スタッフから「邪魔!」との言葉・・・パワハラと捉えられやすいかも?

➡その場所は、移動時にぶつかるので広い場所に移動してください・・・など

一つの文章で理由と行動を示すと意図が伝わりやすいです。

職場で暴力・暴言を我慢しない!!

職場で患者や利用者から暴力や暴言を受けた!!

➡上司に報告し施設のマニュアルに沿って対応をする。

自施設のマニュアルは確認していますか?

訪問看護の場では、一人で訪問するため暴力・ハラスメントの対応が難しい場合があります。リスク要因の抽出をして利用者・医療者双方の安全を確保し、良い看護の提供を行えるようにしていきましょう。

●危険な場所 ●危険物 ●危険な状況

在宅ケア従事者のための安全判断チェックポイント <http://www.miki-kmu.com/>

グループワークでは、暴言・暴力についてKYTを実施し、訪問看護の場面では、精神疾患のある患者が強くお茶を飲むように勧めてきた事例について対応の検討しました。飲食はできないこと、これを守らなければ訪問はできないことを伝えて断わる対応をしました。

事業所内で統一した対応を決めておくことが重要です。



<受講者の声>

- 暴言・暴力を我慢していた自分が間違っていたことに気が付いた。
- 施設での暴力・ハラスメント対応がどうなっているのか研修を受けて確認しておくべきだと強く感じた。
- 様々な事例を聞き、危機感を覚えた。
- ハラスメントに対する考え方が変わった。(自分が思っていたことがハラスメントではないことを知った。)
- 危機管理できていなかったこと、新しい取り組みをしていかないといけないと思った。
- 新人教育について、会話術を学ぶことができた。今後の対応に生かしていきたい。
- 実践に生かせる講義だった。今後は相手をパワーアップさせない対応で病院職員らしくしていきたい。



熱中症が 増えています

予防のためのポイント



熱中症警戒アラートを活用しましょう

アラート発表時には、

- のどが渇く前に水分・塩分を補給しましょう
- エアコンを適切に使用しましょう
- 高齢者等に声を掛けましょう
- 不要不急の外出は避けましょう
- 暑さ指数に応じて、外での運動は、原則、中止/延期をしましょう



「熱中症警戒アラート」は環境省のLINE公式アカウントで確認することができます。

友達追加は
こちら➡



エアコンをしっかりと使いましょう

熱中症は室内でも夜でも発生し、命に関わる問題です

- 無理な節電をせず、夜もしっかり使用しましょう
- 日中はすだれなどで日差しを和らげるなど上手に使いましょう



注意! 停電時など、どうしても エアコンが使えないときには

- 日光を遮り、風通しをよくしましょう
- 濡れたタオル等を肌当て、うちわであおぎましょう
- できる限り、冷房設備が稼働しているところへ避難しましょう
- 停電時の断水に備え、飲み水を備蓄しましょう
- 電力需給ひっ迫時には、浴槽やバケツに水を貯めておきましょう





受講料・参加料は
全て**無料**です!



ナースセン

看護職員再就業支援研修 eラーニング

後期：12月～2月

学研ナーシングサポートを利用した研修です。いつでも、どこでも、何度でも、端末がお手元があれば視聴可能です。

- 対象** 栃木県在住の看護職の資格を持つ、未就業または申し込み時点で就業から6ヵ月以内の方（他受講要件有）
- 人数** 後期30名程度
- 内容** 基礎研修コース（65テーマ） 認知症・高齢者コース（32テーマ）
多職種連携コース（13テーマ） 院内安全研修コース（99テーマ）
チェック動画（33テーマ）
- 申込方法** 栃木県看護協会研修システム

キャリア継続支援研修

9月コース：9月27日(金) 10:00～12:30

看護人材の確保が困難な中、プラチナナースが活躍できる場としてプラチナナースに「選ばれる職場づくり」をサポートします。

- 対象** 看護管理者、人事・採用担当者
- 人数** 20名
- 内容** ①これからの雇用促進・人材確保・定着への取り組みのプロセス
②65歳超雇用推進助成金・特定求職者雇用開発助成金について
- 申込方法** 栃木県看護協会研修システム
※申込期間延長しています。 ※参加者に「プラチナナース活躍促進サポートBOOK」贈呈中

看護職のための就職相談会

9月7日(土) 13:30～15:30

就職に必要な履歴書・職務経歴書の書き方や面接時の注意点の講話や、求人施設の担当者から直接お話や説明を聞ける場です。

- 会場** とちぎ健康の森多目的フロア
- 対象** 看護職の資格をお持ちの方・看護学生
- 人数** 30名程度
- 参加予定求人施設** 20施設程度（200床以下の病院、医院、介護施設等）



ター通信



※栃木県ナースセンター事業は栃木県からの委託事業です。
 ※詳細は栃木県看護協会ホームページをご覧ください。

Welcome! かんごちゃん

6月からナースセンター入口で、かんごちゃんが皆さんをお出迎えしています。

イメージチェンジ後はX(旧Twitter)で紹介していますので是非ご覧ください♡



栃木県看護協会
X(旧Twitter)

6月～7月7日



七塔かんごちゃん

7月8日～現在



五輪応援かんごちゃん

フォトレポート

看護の出前授業



小・中・高校生を対象に現役看護職が看護の魅力を伝えています。



お問い合わせ先

公益社団法人 栃木県看護協会 栃木県ナースセンター

〒320-8503 宇都宮市駒生町3337-1 とちぎ健康の森4階

電話 028-625-6141 H P <https://www.t-kango.or.jp/nurse1.html>





表彰おめでとうございます

日本看護協会長表彰 河原 美智子 様
 日本看護協会長表彰 前原 多鶴子 様

両毛地区 令和6年度栃木県訪問看護教育ステーション事業 (R6.4/1~R7.3/21) とちぎ訪問看護ステーションあしかが

- ① 訪問看護ステーション体験・研修 (随時受付)
- ② 相談事業(月・火・水・金 /9:30 ~ 12:30) (随時受付)
- ③ 訪問看護に関する勉強会の開催 (お問合わせください)
- ④ 地域の訪問看護ステーション連携会議の開催
(対象：両毛地区訪問看護ステーション管理者)

<お問合せ先>

とちぎ訪問看護ステーションあしかが
 ☎0284-22-7366 担当 宇佐見



広報担当委員交代

広報
委員長

新小山市民病院 中田 律子

新委員

東西健康福祉センター 野原 恵
 とちぎメディカルセンターとちのき 村井 亜矢

栃木県看護協会

入会のご案内・会員各種手続きはこちらから



編集後記

今年も連日猛暑が続いていますね。皆様、熱中症予防対策をとり、暑さに負けず元気に過ごされていますでしょうか。炎天下のアスファルト上と日陰では20度くらい違うこともあるそうです。長時間日向にいる時は特に対策をとってくださいね。